

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
渋川市	渋川・伊香保地区(渋川・伊香保集落)	令和3年3月30日	令和4年3月14日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	495.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	258.0ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	146.6ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	118.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>・地区内の70歳以上の農業者の耕作面積は146.6haあり、うち後継者がいない耕作面積は118.6haとなっている。今後、中心経営体が引き受ける意向のある面積は5.0haであり、新たな担い手の確保が必要であるが、若手農業者が少なく将来的にも担い手となる人材がいない。</p> <p>・渋川・伊香保地区は山間部も有しており、特に伊香保は基盤整備もされていないため、営農が難しい地域である。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

規模拡大を検討している認定農業者に農地を集積し、新規就農者の受け入れも進める。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

地区内の農地は新規就農者や認定農業者への集約化を目指し、中間管理機構の利用を推進する。
人・農地プランの座談会を定期的に開催することにより、地域内の農家や農地情報の共有に努め、認定農業者等への農地集積を進める。
渋川・伊香保地区における伊香保地域は、集積が難しい地域ではあるが、地域の農地所有者の自家用栽培の農地としての利用や観光と結びつけた農地利用を推進することで、荒廃農地化を防いでいく。